青谷町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

青谷町	総合支所	「鳥取市	市新市域振り	リビジョン」推 推進期間	進計画道	歩チェック状況										t- ÷								
項目名	事業概要	目標 【基本計 施策】		中期	長期 ~R5年度	- 短期(~29年度)における総括 成果(何をどれだけ)	は 中期(~令和元年度) 成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	R3年度 実施内容	予算額 (千円)	た算 目標 ^導	R4年度 (2) 実施内容	予算額	決算 目標 連邦	事業 切 生向 実施計画	R5年度 実施内容	予算額	決算額 (千円)	目標		変)における総括 今後の課題・方向性	備考	担当課	
				の一方谷憩いの場登備等	TIX	広場測量粉計を完了	計画していた施設整備をすべて完了 ・広場は公共空地として都市環境課が所管し、維持管理は支所で行うが芝生の管理は地域の団		-	(千円)	円) 度 方	M Assert	(千円)	円)度	性性	XIII III	(千円)	(千円)	達成度 フ	性	THE PROPERTY.	R元年度で完了 青谷ようこそ広場	都市企画課青谷町総合支所	1
	①青谷地区を 中心としたコン バクトなまちづりを進め、憩い	点の整備	哲拠 前 OJR駅前広 ³ 盤の 周辺整備等	易 OJR駅前広場 周辺整備等		・広場測量設計業務を完了。 ・バス待合所建築設計を完了。 ・駐在所の解体撤去を完了。	に依頼する。 計画していた施設整備をすべて完了 パス待合所に観光来内コーナーを併設し、観光		_				-	- -		-	-	-	-	-		R元年度で完了 JR青谷駅前整備	都市企画課青谷町総合支所	2
	や賑わいの空間を創出する。	充実】 『工業の 興】	振		〇企業誘致	西部地域三町で候補地をビック アップし、工業団地造成における 諸課題に対する関係課の意見場 取を行いながら、候補地を検討 ている。企業立地・支援課と連携	間報の対象が、それがあってい うる 志 工業団地設置における諸課題や候補地の検討 し男	工業団地設置における諸課題や候補 地の検討に努める。		-	- C.未 3 達	現 現 機構 鳥取市に立地したいという企業の情報がなかったため未実施 持	-	_ C.升	表 3現 鳥取市に立地したいという企業の情報があれば、企! 状植 地・支援課と連携をとりながら工業団地設置における 接護・接続や候補地の検討等を実施	立 鳥取市に立地したいという企業の情報がなかったため、特 になし	_	-	C.未達 3.	工業団地設置における 請課題や技補地の検討 連持 への立地情報が無く企 業立地に繋がらなかっ たた。	所の連携が必要であ り、支所のみで動ける		企業立地・支援課青谷町総合支所	4
		地域活性イベントの構築	生化の高級地域デンドー	ハ 現 イ ○地域活性化イ ペンルの国事を。空	○地域活性化イベントの田本	因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭・和紙イベントをとおして因州和新をPRU、地区住民あげての日置 地区の最産物販売や食のバザー等で和紙産地の魅力を発信した。	図所は経営性格化事業 別用を担当しても、ないたければなりでは、12章 別用を担当していい。 のは、12章 と、一般では、12章 のは、12章 と、一般では、12章 のは、12章 と、12章 のは のは のは のは のは のは	日 関州和紙産地強化事業 ・図州和紙イベント開発を通して、整 カの発症、集密、企画内容、PR方法 勢けする。 は、実に効果がな取相を検 勢けする。 は、技術伝承・後継者育成等図州和紙 の産売強化につながる取相を検討する。	価値産業である原料知能の産地強化と青谷時の賑わい創出を目的とした定期 イベント開催及び背省上も地温跡の利活用を推進する事業の支援 (青石銀州総理工会がお仕事業) ・ 「海州総理工会なしたを収穫を(11月)は、新型コロナウイルス感染拡大防。 ・ 手が担保経存事業でトロロアオイ、こうその証頼数部を実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	89 L ±	ooo C未 3	伝統産業である限例和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的 イベン・阿賀及び背合上中地道間の利は用他進まする事業の支援 (青金間保護事業を含む事業) (青金間保護事業を含む事業) にか中止としたが、とかど別生の五国育命かみにもフェスタに参加した。 上が中止としたが、とかど別生の五国育命かみにもフェスタに参加した。 ・手すき総様等事業でいつて本、こ子を継やの登場。 現代者ようこそ作業・3間間限の中品を全の歌に展示 現代者ようこそ作業・3間間等を定じ、本部コロナウイルス感染拡大防止のため2 博・青々ようこそ作業・3間間等を定じ、本部コロナウイルス感染拡大防止のため2 時 四半点上にか、10/20 青谷ようこそ世際加速で開催(来看者が400人)	205/	E-D 0201 0	*チ9さ和拡体任事業でトロロアオイ、こつぞ栽培への	い 伝統産業である因州和紙の産地強化と背谷町の履わい創		2 405	A Series 23	伝統産業事業者と協働 し、因州和紙のPRや手 すき和組織の保存継承で で、取り組むなど、因州和 紙産地など、因州和 紙産地など、因州和 能産地など、選州和 総定地など、選州和 総定地など、選州和 総定地など、選州和 総定地など、機工でき 地域住民や事業者と協 働し、株々な地域イン・	出に引き続き取り組んでいく必要があるが、事		青谷町総合支所	5
	②ない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	【協働の記述】 選	の再 まな。 ジンとの連続 大 シンとの で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	ペントの再考・定 者	ただのみち	・青谷ようこそ市場は、支所が事 務局となっており、参加団体が 職が低かったが、H29年度より 各回の担当団体を決め、自定の を国の地当団体を決め、自定の効 来があったと判断。 ・1年目のH28年度より2年目の H29年度は来場者増。	- 町外からの集客を図るため、チランの新聞別り、 込みを行い、なイベントを開加し、 ・青春上も地温師器を重かわた・伝統主動等のは 開催を之間。少年の計算を表現した。 ・春年が打造とは、新たな紅田舎増につなげるな と、青谷地乗のイベントとして定着を図ることが きた。 述べ出点数 H30年度 77 近代出版数 H30年度 34	青谷ようこそ市場 ・各国ごとに中心となる企画団体を決 あ、自主性を高めているが、あおいら 全体の自主機図には至っていなが、 中心的信頼を果たす団体の育成に継 続して取り組る。 島取市西地域連携による広域的なイ ベント開催を検討する。	・福祉の事業を10.11 青谷か・中学生による手作り知能しおり配布による青谷等 力能側の発性を支援。 ・ あるいちギャラリー(10/2~17) 892人 ・ あるいちが、エーター(12/15~1/15)。 ・ 育まりたこそ市場(4回開催予定)は、新型コーナウイルス感染拡大防止のため ・ 青台からいち通知を開発書業等。 ・ 青台からいち通知を到機を開発。 ・ 青台からいち通知を到機を発します。 ・ 青台からいち通知を到地との手が、 ・ 青台からいち通知を対しませる。 ・ 青台からいち通知を対しませる。 ・ 青台からにからなりフラリー実施(10/23~11/7) ・ 青台よき地温脚・実施/温の楽しか方とするのにぎれいづくがを考えるつどい (17.12 間隔) ・ 青台よき地温脚・ボシンティア乗成議座(年6回)島取市文化財団に受託実施	te 2,830	2000 建 1	等 等中よしたが、(9/22 音楽を上した) (19/2 音楽をみの人) (19/2 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/22 音楽を上したが、(9/24 全を上したが、(9/24 2 全を上したが、(9/24 2 全を上したが、(9/24 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2,631	0 1,303 達		** 新から・データー(**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**)	2,630	2,403	A.进収 ae	建械 地域によい手来るに 地し、様々な地域イントを開催してにぎわいを 割出した地青谷かみ じち史跡公園のオープ ンに向けた着地型観光 体制の整備に取り組ん だ。	の状況の変化に対応		再 也可能已又加	3
①地域コミニティの増 連、活力の あるまちづ り	<u>.</u>	地域コミニティの充3 【協働の3 づくりの打進】	* O各地区の	〇各地区のまち づくりリーダーの 育の成地区公会 自の経動	○まちづくり団	・新たな団体や地域づくリリー ダーの育成に繋がりがたかった。	・青谷の地域資素(鳴り形。 国州知能、青谷上寺 地道物など)を光世代に選求するため、様々なは 組を行う青谷地域づくり連絡協議会への支援を 行った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・青谷地域の自然や歴史文化の魅力 を地域住民に啓集するとされて、保全 本地域主民に啓集するとされて、保全 活動を推進する青谷地域でソび連絡 協議会への支援を行う。 ・各地区のまちづくい協議会の組織強 化を支援し、リーダーの背景につなげる。	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連結協議会(団体)」を支援、協利和抵抗用活動、環境素化活動、明り物産活動、青谷上等。温源学言活動、ふらとと呼ば動、美国集自動業支援 等の自力発展が表現。 教授是活動を実施 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換	地 1.130	B.概 3 789 ね達 サ 成 :	现 · 地域活性化推進事業を選じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会(6団 機構)」と支援: 國際和經濟周濟區、國際東北區域、明分級全流域、青台上市地 通過等電流域、水石之中不識、原基集自然原生活域、青台市物産販売促進活 版、青谷の魅力発掘活動、截光促進活動を美施	1,130	0 1.119 A.浏	づくり連絡協議会(7団体)」を支援: 因州和紙活用注 2.改 勤、美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地道錦学 善継 動、青の部内室販売促進活動、青谷の魅力発掘活動 は 組織・収准半断を実施	域 ・地域活性化推進事業(市域附金)を通じて地域活動団体 ・地域活性化推進等業(市域附金)と変量、	1,130	0 1,117	A.達成 3;	青谷地域づくり連絡協 議会への支援により、 青谷のも城積源(鳴り 助地域資源(鳴り 砂、因州和紙、青次台 代に観遊なぎる団地の活 助が推進され、地域活 性化が図られた。	体の構成員の高齢化な どもあり 活動団体や		協働推進課 青谷町総合支所	6
		①「卓球のち青谷」の お青谷」の 活 【スポーツ クリエージ ンの振興	の復 ツ·レ ショ 貝】		○卓球のまちづくりの推進		「卓珠のまち青谷」の復活 卓珠教室・青谷オープン卓珠大会の開催などを 通して、青谷高校卓珠部及び08等の役員協力 と、青谷地域住民と一体となって地域再興意識 共有する基盤プグリを進めることができた。	「卓球の家ち青谷」の復活 な 地元住民が卓球にふれあう機会とし で、オープン卓球大会で開催する講 習会への参加促進。	「卓越のまちづくり」の連進 ・出版卓域場音楽の開催したころよの教育 ・出版卓域場音楽の開催したころよの教室開催出力についての検討 ・第7回着等オープン点域大会の原理支援(1/427) ※新型コロナウイルス感染拡大放止のため中止	400	2 C.未 差	「自建のまちづくり」の推進 ・ 申末大会の能力 ・ 申末大会の能力 ・ 申末大会の能力 ・ 申末大会の能力 ・ 申末大会の能力 ・ 申末大会の ・ 中本大会の ・ ・ 中本大会の ・ ・ 中本大会の ・ 中本大会の ・ 中本大会の ・ 中本大会の ・ 中本大会の ・ 中本大会の ・ 中本大会の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	401	0 3 C.#	「卓球のまちづくり」の推進 ・卓球大会の協力 医恵士様で、「青谷上寺原杯卓球・ ・ ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ 第6回青谷の工能学・ ・ 第6回青谷オープン卓球大会の開催支援(11/4、5)	「点頭のまちづくり」の推進 ・卓取大会の処力 ・体料協会者の取力 ・体料協会者和支配主催で、「青谷上寺原杯卓球大会」 12月3日に開催、(参加者 52名) ・青谷オープン卓球大会の開催支援(11/4、5)	400	0 400	B.概ね 2. 達成 #	青谷オープン卓球大会の開催などを通して、青 合高校卓通して、青 合高校卓強協力など、青 を地域性民と一体と なって地域再興意と なって地域再興意と 大名でもなど、 もなってからないできた。	卓球のまちづくりを進め るため、オープン卓球と 青谷上寺朗杯の両大会 の関係を整理し、事業 方針を精査していく。		青谷町総合支所	7
		②国際 本	○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ。 ○「卓球のまち青谷」復活に同けて町民の意	ā l		②国際交流事業	持・継続に努めた。	高校を中心とした国際交流事業の活動の継続につなげていく。	②については(※青谷高等学校かりキュラム見直し等により推進計画施策から 除する。)	91 _	- -	②については(※青谷高等学校カリキュラム見直し等により推進計画施策から削除する。)	-		_	-	-	-				削除	青谷町総合支所	8
	③青谷高等学校は、特色のまる取組や地域と の繋が後化: 取り組む。	事故の金属を表した。 まなのる。 まなのる。 まな	議議・ ・卓様・ ・中華・中華・中華・中華・中華・中華・中華・中華・中華・中華・中華・中華・中華・	○郷土愛を育む 事業(青谷再発 見、子どもガイド 養成)	〇郷土愛を育む	 交流先の自治体の考えにも影響され、中国太倉市との交流は縮小状況。 青谷高等学校も交流先を韓国 	育公高等学校の魅力づくりの取相協力・支援 「育谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷 環路と小側に乗り乗り会した。各学・共 環路が開いての取得を支援する中から、 との発展が実際をある。 の発展が実際の変素の変素のの表情が表げ できた。地域能力支援の発掘以来を待ることが ときた。地域能力支援の発掘以来を待ることが と	b 地域と連携した青谷高等学校の魅力 立 (1)の数値拡力・支援。 会 1) 情名地域振力・制度を 会 1) 情名地域振力・制度を 会 2) 情名地域振力・制度を 会 2) に選続、資金・地域整備が 会 2) に選続、資金・地域整備が	地域上連携した青谷高等学校の能力がくいの取締の協力・支援 ・「背名高等学校の活性化を支援する会」「背名地域解析い側出来行受員会」 連携し、青谷学、地域課題完成の支援 ・19高位生たり、9之背音学、情号のまちなみを知る)の実施協力 ・10/57活性化を支援する会」の活動協議	٤ _	B.概 3 - ね達り 成	地域と連携した青台高等学校の超力づくりの散線の協力・支援 現・「青台高等学校の活性化を支援する会」「青台地地震かい、簡出実行委員会」と 機・「対し高級をだって、 は、511高級をだって、 の実施力・フル、604、11、5117青谷学五(伯書街速を中く~青谷編~) ・277活性化を支援する会」の活動協議	-	B.根以 一 ね3以 成	連 状績 ・「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地地 2 持 かい別出来行委員会」と連携し、青谷学、地域課題が の支援	地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・ 支援 「解と高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域関わ い側出来行委員会」と連携し、青谷学、地域課題探究の支援		49	A.達成 3.	青谷高等学校の支援 有谷高等学校の支援 行の取寄租等校の支援 持 持 持 共 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	校下がとな扱うのため、 高校の意向を踏まえて 適切な支援を行っていく 必要がある。		青谷町総合支所	9
	取り組む。	【教育の3 実・郷土3 醸成】	再発見、子ど ガイド養成) 充要の ベントの推進		○青谷高校の 魅力化の取組 の支援	ことにより今後の地域との連携が 期待できる。	がきた。		者名と中地道路を活かした「停生文化度気」かりキュラム創設による考古学を打ち出した音を選手等の動からを重要する。 市場と主き地道路利法用等某権運動会に参盟 ※第15回全国高校生歴史フォーラムで県内初の優秀賞受賞	-	B.概 3 一 ね達 が 成 :	青谷上寺地温跡王添い上「弥生文化探友」カリキュラム解説による青古学を打 取り出し、青海高学科の最初から普通書きる。 は創 令和は年度から展外から青谷高等学校に入りた。青谷上寺地道跡寺を活用した 神 地域学客を授与する生成上がして実践をすることとした。 ※第16回金国高校主歴史フォーラムで佳寺安貴	: -	- B.# - ねぇ 成	翻設による者古学を打ち出した青谷高等学校の魅力 報告を推進する。 連 状績 令和5年度から県外から青谷高等学校に入学し、青名 注 持 寺地遺跡等を活用した地域学習を履修する生徒に対 支援をすることとした。	ラム 青谷上寺地道跡を活かした「弥生文化探究」かりキュラム創 ほによる考古学を打ち出した青谷高等学校の魅力化を推 多する。 また はして が出年度から県外から青谷高等学校に入学し、青谷上寺 地道跡等を活用した地球学習を優修する生徒に対して支柱 をすることとした。		0	C.未達 2.改 維	_{収差} を得ることができた。	振や 育谷高校が「地域みら 収果 い留学」を継続して取 相んが体をおり、青谷上寺 地遺跡体を活用した。 域学習を履修する に対して支援を継続。 る必要がある。		青谷町総合支所	10
							保育園、小中高との連携強化 青谷中学校区地域創造学校運営協議会の取り を継続する中で、保育園、小中高間のつながり 割出し、地域への愛着を育てる相互の連携関係 を継続することができた。	組 青谷中学校区地域創造学校運営協 を 議会の取組に協力し、保育園、小中 高との連携を継続する。	③については(※青谷中学校区創造学校運営協議会が主体になり恒常的な運 となるため、推進計画施策から削除する。)	8 _	- -	③については(※青谷中学校区創造学校運営協議会が主体になり恒常的な運営 となるため、推進計劃施策から削除する。)	-		_	-	-	-	-	-		削除	青谷町総合支所	11
	①自産場所の ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	的の質組		D ○地場産業の 現状把握	○特産品の 路拡大	市民活動を通し、特産物の販売 及びふるさと納税商品などへ版 設施大をPR。 ダイハツ工業生活協同組合との 特産物の販売、取引を行った。	・市民活動を通し、最外のイベントへ出店し特定 物の販売・PRを実施した。 でダイルツ工業生主協 用組合との実谷町の特産物の販売、取引を観移 している。	・市民活動を選し特産物の販売促進 を継続及びふなる販路拡大。 ・ダイハツ工業生活協同組合との特 度 産物の販売、取引も引き続を行ってい	市民活動を通し、県外へ特定物の販売・PR及び企業等に販調拡大 ・売店市との文法等基を完成から3回開金の計画は、コロナ側の影響により中 ・売店市との文法等基を全成のから3回開金の計画は、コロナ側の影響により中 ・売店市ダイルフェ星を活成開場との非常機能を開発 ・売店を表示して着て地域特度物販元実施。二十世紀製等655器を販売	-	_ C未 3 連	現 市民活動を選し、県外へ特産物の販売・PR及び企業等に販路拡大 ・機・増立ロナウイルス母条を拡大防止のため来更を中止 ・治血市ダイルス母条を拡大防止のため来更を中止 ・治血市ダイルス軍を基準開発との特産物販売を軽減。 青台ようこそ館でを選じて二十世紀製396箱を販売	-	_ C.升 達	市民活動を選し、県外へ特産物の販売・PR及び企業 3 競 「阿路拡大 3 競 「四路拡大 3 競 に 10 け場で中止となっていた池田市との交流事業の 2 世界 2 世界 2 世界 2 世界 2 世界 2 世界 2 世界 3 世界 3 世界 3 世界 3 世界 4	□氏活刺を通し、紫外へ特座初の販売・PK及び正来等に ・ 販路拡大 ・ 油田市ガイハツ丁幸庄等校同組合へ 春久トニーを輸た	-	-	C.未達 3:	・県外のイベントへ出店 して特産物の販売PRを してきたものの、新型コ ロナの影響により中断 している。 場外企業への阪路拡 大については、ダイハツ 工業生活協同組合への 特産機の本。 継続した。	支所として特産品の服 路拡大には取り組んで いないため、服路拡大 を行っている事業者と の役割整理等が必要。		経済·雇用戦略課 農業振興課 青谷町総合支所	12
	めり、社会が行れるます。 れるままちをめる しな交流人口の 拡大を図る。	1 地場産業	楽の 産業 成長 保	成 ○担い手育成と 後継者の確保	○担い手育成と 後継者の確保	就農舎を中心とした担い手育成。 現在、研修生2名が試農の研修 中。H30年度に経営継承で就農 予定。就農について関係機関の 協力により育成指導中。	・農業研修生2名が、H29年度に就農研修を終え H30年に経営観末により新樹就農した。 +H30年度から地域おこし協力隊員1名が原末シ クケ生産の研修を開始したが、令和元年度末を もって退職し、2年間の研修を発えた。	は、研修継続を予定していた地域おこし 協力隊員が、急遽令和元年度までで 「活動を中止したため2年度の計画はな くなり、3年度以降に新たな事業に取 組めるか再検討する。	。 鳥敬県漁協の事業で、令和3年4月から3年間、漁協青谷支所(長和薬)にて2名 就業研修を実施。	it ^s _	— A連 3 成	選 鳥取県漁協が、令和4年度も漁協青谷支所(長和薬)1名、夏泊支所1名、計2名 機 の就業可修を継続実施。	-	_ C.3 達	表 3.現 改権 放棄研修等への支援の継続 持	支援の妄論等がなかったため、特になし (研修支援は、青谷支所1名(いか・刺し網等)、夏泊支所: 名(定置網)	2 -	-	C.未達 3.	計画期間中に研修終了 現状後に就農した方が3名 計 あった。漁業について は研修を継続している。	担い手育成と後継者の 確保は支所として重要 な課題として認識してい るものの、支所の関わ り方等について受け入 れ団体等と調整等が必 要。		林務水座課 農業委員会 青谷町総合支所	14
			〇夏泊朝市 実施・地域で 活性化・交 人口の拡大		○要治朝市 実施・水産資料 実施・水産資料 をの活性した地交流 人口の拡大	例年に比べ時化等の影響もあり 漁の回数は減ったが昨年並みの 実績はあった。	夏泊朝市は鳥取県漁協夏泊支所の運営で毎年 開催され、集客も安定して認知度も上がってき た。	・夏泊朝市は、実施主体である漁協の 方針により事業登理され、令和2年度 からは実施されないことになった。定 重網論は整板される。 「あおいち」イベントと漁協夏泊支所 の協力は継続する方向で協議。	別当の定置機能は今後も継続 ・5/1夏治前市の定期開催について県流協・夏泊支所と協議。R3年度は新盟ロナウイルス感染拡大防止のため開発を見返り 「あおいち」イベントを夏泊流港で開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	ž= -	_ C.未 3 達 :	現 「あおいち」イベントを夏治温港で開催 機構 ※新数コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-	_ C.月 達	3週 コロナ領で中止となっている朝市の再開、「あおいち」 東 秋維 → PSS.513朝市実施、今後については、県造協と 経議。	- の 夏泊朝市を4年揚りに復活 続 R55.13~10.28の間に9回開催	-	-	A.達成 2:	新型コロナの影響で中 断はあったものの、朝 市の継続開催により、 漁業に対する魅力の向 上、安流人口の拡大、 魚食の普及等に成果か あった。	整を図っていくことが必		林務水産課 青谷町総合支所	15
②地域資源 有効活用に る、魅力ある まちづくり	لد 5	歴を変流加 財子 芸らの相 [文よの 1] という という はい	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	中心となって、 青谷町内のジウ サイトや歴史文 化を案内でき成 ガイドの養成を ガイドの養成を	青谷町内のジオ ○ガイド団体の ナイトや歴史で育成 比を率内できる ○観光ガイド体・ガイド団体 寸イドの養成を 制の確立及び 図る。 〕観光ガイド体 スの設定 側の確立及び観報	・ガイド団体の設立はできた。	青谷町ガイドネットワークと観光事業マッテング により、ガイドネットワークの役割を確立し、継続 した団体育成につなげることができた。	・引き続き、青谷町ガイドネットワー/ ・ への情報提供やガイド活動の活性(について支援を行う。 ・観光ガイドコースの設定。	報光ガイト体制を修立するため、育谷上中地温時ホランマイが講像史講生の人 活用、青谷町ガイドネットワー等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図 ・観光ガイ体制の確立及び観光ガイドコースの段を 青谷町ガイドネットワークが青谷町歴史探訪ガイドコース東(フコース)を設定し 等をかわませた。	5.	D-45 2	観光ガイ体制を確立するため、青谷上寺地道際ボランティア議席受議生の人材 活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの資成を図っ 出た。		0.5	寺地道師ホブンテイグ講座受講生の人材活用、青谷 イドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの 成を図る。	青谷かみにち交換公園オープンを視野に入れて、青谷地域 地 の総決策選の観光ガイ作業が優立するため、青谷と与地 上週間ボランデリ関連を選集のよがら、ガイやの資産を陥っ から、カイン等版機関体と基準しながら、ガイやの資産を陥っ ・観光ガイ体が必要用及び観光ガイドニーズによるガイド の実施 ガイドネットワークによる青谷町歴史探訪ガイドコー 大でのガイルマ実施			B.概ね 達成	青谷町ガイドネットワーク等により観光ガイド受付体制の整備し、観光ガイド受付体制の整備以設定されたことにより、観光客の受入れ来内体制が整備された。	ガイド人材の育成による案内体制の拡充や、 新たに進められている サイクリングによる観光 への対応が必要となっ ている。		観光・ジオパーク推進調 青谷町総合支所	踝 16
				里基本計画に基づ	遺跡保存管理 計画・整備活用 基本計画に基づ	青谷上寺地道跡保存活用協議会への支援が主な活動であった。 が、活動内容がマンネリ化か 加着や協力者が増える状況ではなかった。	・青谷上も地道跡保存活用協議会への参照 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・R2年度から青谷上寺地遠跡の史跡 建工事書手されるにおたり、青谷上 ラ 市地温地保護市間協議への支援を の 行い、連携する。 「何名上寺地遺址でラーディア構造に フいては、R2年度が最終年度だか。 連絡である。「青公主寺地道談及の 達した。近日では、R2年度が最終する 会にも現り、日本年度以降を継続する 方向で観光が行行で行く。	11/13青谷地区地域探訪、3/5北前船・朱印船ウォーク2022で青谷町ガイドネ トワークがガイド担当 ・青谷地域にぎわい創出事業として、青谷上寺地遺跡利活用推進事業でポラン ティア養成講座を実施(年6回)	ッ — , E	- ね速 サ 成 :	(機・機変がイド等制の運用及び観光ガイドコースによらガイドの実施 特	-	- ね娘 成	は 次額 券舎前ガイネットワークによる客舎申歴史施防だ 持 一	(4 著名前方パトネットワークによる背台制度を発動がパテコ 大でのガイの変換を観響と、最初あちか他生性。 また 市 日本地球と連続して 都たな着谷かみにちを建かる開立 コースを設定したあおかみからなマップを作戦した。また 施、山陰海岸プオバーク推進協議会が夏泊・長尾畠コー ノスの最新の存代戦した。 - 世界整備については、県が主導して計画に基づいた整備 を実施 ・更換合画の選貨協力関係については、県が史陸公園ボラ ファイタ登積域を設けており、必要な運営協力を行ってい る。		-	2. 8 C.未達	次善 音公 - 市場遺跡保存管 著計画 - 整づ - 市場 - 市	整備や運営方法につい て、果と連携しつつ市と して取り組むべき内容 の精査が必要。		文化財課青谷町総合支所	17
		【滞在型	観光	0	〇中路、文化	JR青谷駅前整備に合わせ、観光 来内板等の設置を検討した。	JR青谷駅前観光楽内版移設整備を完了 ・バス特合所を活用した観光情報提供等の取組 により地域情報に触れる場づくりの拡充を図れ た。	整備完了	-	_			-		-	-		-		観光案内看板設置済	完了	R元年度で完了 JR青谷駅前広場 観光案内版移設	都市企画課 観光・ジオバーク推進調 青谷町総合支所	課 18
			検討・整備 〇地域の地域の 認識受力を の を を を を を を を を を を を を を を を の を の	〇地域の歴への歴史の 地域を増加している。 ・登場を表現のを ・登場を ・登場を ・登場を ・登場を ・登場を ・登場を ・登場を ・登場	ンの の の の の の の の の の の の の の	にばしまウォーキングは、地域の 歴史認識を深めるというより、 ウォーキングに重点を置いた内 容であり、近年のウォーキング ブームもあり、近年のウォーキング ブームもありを加着は多い。青 断を知っていただく効果ありと判 断している。 野を知るなが、 学生の参加者が大部分を占めて いる。	ウォーキングコースに、海洋の景色や神柱等を 込み、青谷町内、県内、県外の参加者に青谷町 3 の魅力をPRLた。 ・ 地域の歴史資源に様するイベントにより、参加 者を通じた青谷の魅力発信取組を創出した。	相 青谷町内からの参加だけではなく、市 外、県外からの参加者も多いため、歴 史や自然に触れることができ、地域の ことを描っていただの景がある。青 谷の魅力を発電できるウォーキング コースの検討。	・あおいちウォーキング ・こばしまウオーキング(勝部地区) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	_	C.未 3 連 #	- にばしまウオーキング(青谷地図) - にばしまウオーナン予定の施設を見ず「青谷かみじち史跡公園コース」 現年 オーナン予定の施設を見ず「青谷かん」(新登コロナウィルス感染拡大防止対策のた 構め、青谷町在住者に扇足し規模を確小して開催した) 接中のこばよれまが取れなかったので、ウォーキング後地域で作られたおにぎ りやお菓子を配布した。	_	B.#J - ね3 成	版 3.更・こばしまウオーキング(青谷地区) 連 状態 今年オーブンオる史跡公園周辺を見学する、「青 月 みじち史跡公園コースⅡ」	- こばしまウオーキング (青台地区) 素ををを選り、今年オーフンする支除公園周辺を見学か あ、「青台かみじら支除公園コース II 110月22日開催し378 参加	_	_	B.概ね 3. 達成 #	ウォーキングコースに、 青谷かみじち史跡公園 周辺を組み込み、青谷 前内、県内、県外の参 加省に青谷町の魅力を PRした。	史跡、文化財、自然等 地域の効果的な魅力発 儒とウォーキングによる 健康イベントとの両立		観光・ジオバーク推進調 文化財課 青谷町総合支所	課 19
	②青谷高校と 連携した鳥取西 いなばまちづく り会社活動支援	服わい削 と地域経 の活性化 交流人口	別出 経済 と、 コの		○「西いなばの 逸品」商品開発				島取市西倉工会及び青谷・塩富・原野総合支所が連携し、それぞれが構成員 心高いなば実行委員会の方針家により、青谷高校生徒からアイデアを取り、直 なば地域の素材を使った南島の開発と返の駅で、気楽重、近中心に駆動機を を高いなば集行業員を各面地域が内接的金属と基づきる結構として契約 正、3支所管内年度事業の共有、情報発信に取り組むこととなった。	· 🛮 📗 📗	C来 3 連 :	現 商いなば実行委員会の方針家により、青谷高校を修からアイデアを募り、商いな は韓 ば地域の素料を使った商品の開発と選の駅「気楽量」を中心に振路機像を図こと 持 としていたが高校からの要請で中止とした。	_	E.D	5.妹 東 東 東 森 女 女	-	_	_				廃止	青谷町総合支所	20

春公町総会支所 「島町市新市域福風ビジョン」推進計画 准括チェック北辺

青谷町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況																							
		84	短期	推進期間中期	長期	短期(~29年度)における総括	括 中期(∼令和元年度)における総括		R3年度			R4年度				R5年度				長期(~R5年度)にお	ける総括		
項目名	事業概	要【基本》施第	計画・ □ ~29年度	~R元年[₹ ~R5年度	成果(何をどれだけ)	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	算 目標成 度 子 引	東	予算額 (千円)	決算 額 (千 円) を を を を を を を を を を を を を を を を を を	「集 の の 実施計画 性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円) 達	事業 の 成度 方「 性	成果(何をどれだけ) 今後	備考 その課題・方向性	担当課	
③安心・安全なまちづくり		自主防 維携 【地域版 の向上	災組 ○自主防災 織の体制 災力 (災力	組 〇自主防禁 機の体制整 ・ 値間線の ・ 単版の ・ 単版の ・ 単版の ・ 単版の ・ 単版の ・ 単版の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	後 報 報 報の体制整貨 報 の自主 が の自主 が の の 自 記 報 の に 利 数 の 自 記 報 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	組・自主防災組織の資機材整備補 事業を活用して資機材の充実 を図ることができた。 組を 変。 訓練実施の自主防災組織数が 増えた。	質機材の整備と住民への意識符条の取組によ り、防災意識の充実と自治会の組織強化につな げた。 (島取市自主防災会地域防災力強化補助金 R2年3月末現在11団体利用。	訓練を実施している自主防災組織は 多いが、ほぼ消火訓練であり、地震や 水害の場合に対応した訓練の促進。	- 自主防災相線の訓練促進 馬克市自主防災会連合金活動助成事業 26団体利用 馬克市自主防災会連合金地区防災訓練助成事業 5団体利用 	-	520 130 B.概 3. ね達 状 成 す	現 複雑目自治連合会研修会等において、各種助成制度を周知し、自主防災会組織 の訓練促進を図る。 ・ 動数市わがまち防災支援補助金等の周知と利活用推進(3団体)	_	B概 3. — ね達 状 成 す	現 青谷町自治連合会研修会等において、各種助成制度 機 開知し、自主防災会組織の訓練促進を図る。	・自主防災組織の訓練促進 と 角数市自主防災金連合会活動助成事業 26団体利用 鳥数市自主防災会連合会地区防災訓練助成事業 5団体 利用	: =	_ B	概ね 3.現 量成 維芽	各種助成制度の活用に	の継続して、自主 総機の訓練等活 接していく。	危機管理課 青谷町総合支所	21
		登録の 【地域® の向上	の登 新規 ○制度の啓 追加 及び地域と 足進) 連携	発本事業におの役割	発と 〇制度の主 ける 地域の役割 について関判 国別・登録を 進する。	等 を 登録者数408名	新規登録者数 H30年度:13人 R元年度:12人	まちづくり位議会等と連携しながら位 他のまちづくりを進めるとともに、機会 を収えながら、より一層の周知、登録 勧奨等を行う。	・青谷町自治連合会研修会(R04 03 文書周知)、民生児童委員協議会定例会 (R03 10)等の機会を長て、制度周知と登録起版技績 ・啓発テランの作成・配付で所、地区公民館、社会福祉協議会) 《参考》令和3年度来登録者数・314人		B.概 3. - ね速 状 成 :	・青谷町自治連合会様修会(R05.02大書周知)、民生児童委員協議会定例会 (R04.12)等の機会を投えて制度無比と登録勘契は報 規 様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	B概 3. - ね速状 成 1	・青谷町自治連合会研修会、民生児童委員協議会定例 現 現 社会福祉協議会と連携し、機会を捉えた制度周知と登 幹 検定基を実施 ・密発チラシの作成・配布	 青谷町自治連合会研修会(106.03)、民生児童委員協議会 京物会(106.03)等の機会を迎えて制度周知と登録助例依頼 ・社会福祉協議会と連携、協会を捉えた制度周知と登録 促進を実施 いきいきサロンへ出前講座の案内(105.06)を実施 《参考》を和5年度末登録者数: 252人 	_	_ B	概ね 3.現	自治連合会研修会や民 生産委員協議会への制度に 実際的な制度限明のほの自財 か、社会福祉協議会とこれま の連携により制度の周 知は決遇しつつある。	カ・井助の意識を	危機管理課 地域福祉課 青谷町総合支所	22
	①各集落の 助・共助に 推進で「地 自を図る。	の自るを報相 して、 の帯・小監・地の名 につ、進 につ、進 につ、進 につ、進	者世心 の地域、支援を 地つ要合業の と事図 を事図 を事図	第一〇地域と連難度を の一つ要なせを 周知を図る。	携動と会の 関すると でのませ知を保める。 では知を保める。 では知を保める。 では知を保護する。 では知を保護する。 では知を保護する。 では知を保護する。 では知を保護する。 では知るには、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	表し 動会 利用者数31名 設。	新規設置者数 H30年度:2人 R元年度:1人	機会を捉えながら、より一層の周知、 設置動臭等を行う。	・青谷町自治連合会研修会(N0403文書周知)、民生児童委員協議会定例会 (R0300文書周知)等の機会を捉えて物度周知と設置も顕依頼 ・窓口に機器の見本を設置 ・老人クラブ連合会青谷町支部定例会長会(R0412)で制度周知 《参考》令和3年度末設置者数:25人	_	B.概 3. ね達状 成 1	- 青谷町自治連合会研修会(055,02文章周知)、民生児童委員協議会定例会 現 (R05,01)等の機会を投えて制度開始上設置軸受体務 - 第口に無限のよを投置 - 《参考》令和4年度末設置者数:27人	_	B 概 3. — ね速 状 成 す	・青谷町自治連合会研修会、民生児童委員協議会定例 現 表等の機会を授えて制度用加た設置制現体類 様・社会福祉協議会と連携し、機会を捉えた制度用知と設 等 直収差を実施 ・窓口に機器の見本を設置	- 青谷町自治連合会研修会(F06.03)、民生児童委員協議会 定例会(F06.03)等の機会を投えて制度開放上設置制度体報 社社会経核協議会と連携し、機会を捉えた制度開放上設置 促進を実施 い吃しきサロン、出間開産の案内(F05.06)を実施 ・窓口に機器の見本を設置 《参考》令和5年度末設置者数:26人	-	_ B	概ね 3.現	自治連合会研修会や民 生産委員に選手を受ける。 生産のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	周知については継 取り組む必要が	危機管理課 長寿社会課 青谷町総合支所	23
		高い域を大きない。高い域を表示を表示のは、一般の一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一	地 行り ネッ 一	〇青谷町住住のの健康・「福いの現状は住民の、気が、 ・ 現状は住民の、気が、 ・ のたま。 ・ のたま。	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	■ ・健康教育(クループリーグ言む)【6回】を実施し、健康に対する意識づくりを図ることができた。) ぎ 地域住民が主体となって、2つの居場所づくりに 着手	地域福祉力向上の必要性を機会を投 えながら施えていくとともに、地域性 民・まちづくり継続を発こ一種になって できることから取り組む。	・ネットワーク構築の土壌ゴベリとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や容美等を実施 ・精神健康いるや引きこもりの方等の居場所づくりへの助宮・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒になって検討等		B.概 3 日 ね達 状 成 1	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、 現地域住民を対象として健康教育や密発等を実施 ・構物館がい者や引きこもりの方等の屈場所づくりへの助言・今後の展開につい 特 で統計等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒になって検討等	_	B版 3.状 成 * *	業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育・ 啓発等を引き続き実施 和	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業 所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や啓奏 等を引き総表表。 ・精神健がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助 富・令後の展開について他討等 ・干育て中の脱足子の居場所づくりについて地域住民と一緒 になって検討等	_	_ B	. 概ね 3.現1 達成 維持	精神解放小者や別性こ もりの方等の場所で くりについては、住民主 体の場構がでは以来、 産業が軌道でのよね。 大き 子育で中の様と子の居 場所でくりについては、 を表し、 場所でくりについては、 を表し、 をまし、 を表し、 をまし、 を表し、 をまし、 を表し、 をまし、 を表し、 をまし、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	ドブくリについては て支援・検討する がある。	青谷町総合支所 西地域包括支援セン ター	24
	②地域・住 協働し生活 通の維持 を図る	持続可交施 生活交保 手を を を を を を で で で 実 で 実 変 、 変 、 変 、 で 来 。 で 、 で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	重の 呆		〇青谷町 における生活 通の維持確例	域交	持続可能な法法交通の身が方を行及と地域・住 が協議して総合は、では、変更があるため、R子の 度から、別のの間本や地域の会議等で情報提 を行った。 写画を実際が「鳥数市生活交通創生ビジョン」が 東走。	・ 育谷地域は、将来路線/スパケ接を きなななる可能性が高いので、今から 助地の学が大きな場合をはる では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・青谷地域生活交通協議会の開催 (7月、8月、12月、5月、4回副業リア放射 (7月、8月、12月、5月、4回副業リア放射 ・シャ大支通寺事業を2001版(8月、8月、3月) ・地域住民等への情報提供 得る支所により、市地では情報機能(8月) (6月、12日、12日、12日、12日、12日、12日、12日、12日、12日、12日	_	_ A.達 2. 成 著	・青谷地域主活交通協議会の開催 機能が入からは2年1月間 機能が入かられて選手等機能を力たの実施計画と作成、PR 8.31に開催した青 か事状況重の選手等機能を力たの実施計画と特成し、PR 8.31に開催した青 を他をはまる。まま計画に基づく製工業件を実施 機能 機能 機能 を対象によっの情報提供 素も対所はより、即中に考数を表し、解析団体への影響会 素も対所はより、即中に考数を表し、影像が入の現在の利用状況や現状について報告。 PR 8.21に常谷小学校PTA執行委員会で、影像・バスの現在の利用状況や現状について報告。 PR 8.21に常谷小学校PTA執行委員会で、影像・バスの現在の利用状況や現状について報告。	_	B概 3. - ね建 す	・青谷地域生活交通協議会の際催 現 機能バスから市者領遷選事業への移行に向けた具体 情 的攻撃計画の作成 ・地域住民等の所義担保 青谷支所だより等への情報提供。	・青谷地域生活交通協議会の開催(5回) ・講義かびが68(23)間以下廃止」と必義されたことを受け、 68(4)から市着のてなを割するための準備(試験運行・時 割表作成。住民への周知等 ・市有信運送からの移行が想定される共動交通について、 まちづくり協議会への情報提供等	_	_ A	達成 1.拡	R6.3.31限リで青分町内 育会運行する民間の路線 で進行する民間の路線 ババスは廃止となったが、のとこと 株となる青台パン電子主 東大が 行し、生音文型の維持 で、 を使を図った。	くスの運行は「共 表が場入される。 高が場合とでいる。 る。地域的が運行 で必要が必要的 で必要がより取組を でいることが必	交通政策課 青谷町総合支所	25
	③地域防災 拠点施設の 実・強化	災力 総合支 の充 備事業 防災力	所整 地域 向上】		総合支所整(耐震設備等	· 備 · 改			青谷町総合支所耐震設備等改修 (耐震性能向上改修、建設設備改修(自家発電・受水槽)、パリアフリー改修、修 補更新等) 仮庁舎、一時移転の協議、実施設計内容を関係課・機関と協議	-	- A.連 3. 成 非	現 青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計) 種(耐酸性能向上改修、建設設備改修(自家発電・受水槽)、パリアフリー改修、修 特 棚更新等)	-	— A.連 3. 成 す	現 青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計) 機(耐震性能向上改修、建設設備改修(自家発電・受水 槽 他、パリアフリー改修、修繕更新等)	青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計) (耐震性節向上改修、建設設備改修(自家発電・受水槽)、 パリアフリー改修、修繕更新等)	-	_ A	達成 3.現 維持	改修工事の実施設計が 完了し、令和6年度より 工事着手予定。 総合支 り防災 る。	を所施設改修によ 機能の充実を図	財産経営課青谷町総合支所	26
	④超高速性 通信基盤の 備	光ファ バーに、 超高速 細の整 【地域性 の推進	曲信 育 報化		光ファイバー よる超高速通 網の整備	1. deg			光ファイバー未登場地域を対象に、国の高度無線環境整備推進事業を活用し、 光ファイバーによる起高速速恒網(通信部分)を登儀した。 起高速速振頻整備数において、一般家庭及び町内事業者等の接続及び利用の 増進に取り組が、 3年度に背谷町全域整備事業完了。	_	— A.連 3.状成 1	現補	-			-	-	-	- -	令和3年度に青谷町全 域整備が完了した。	R3年度で完了	情報政策課青谷町総合支所	27
④まちづくり 支える自立 た自治体経	を ①公共施設 利活用	青遠の 日本	示館 用 打商 D利		〇遺跡では、 ・ は、 ・ に、 ・ な、 ・ は、 ・ が、 ・ は、 ・ は、 ・ が、 ・ は、 ・ が、 ・ は、 ・ が、 ・	ス リリ れ 遠 リ リ : 音			・育谷上寺地道師展示館の開館後の施設について、まちづくりの報点から、有効な利活用方法について独計する。 な利活用方法について独計する。 文化的理点での意気は前の展示総利用について協議 ・旧身谷の南工金館の利活用について、西南工金と選携した利活用方法、民間 事業者や4000円による信候利润局を含めた。有効利用について統計・機業する。 間面工金信機共和に有効な利活用施計を継続する ・地理生活動品として、製商は偏分数量から利用について、青谷ようこそ館を含 めた、一帯の将来につれる機能的なおり方を検討する。 等るようこそ的意識協力と地対産品開発等の取組を支援する中で、駅前広 場の利用にこぞれ・輸出に敬植	_	B.概 3.状 対 成 1	青谷上午地温游展不報の開館後の拒殺について、まちづくりの報点から、有効 な利託用力法について検討する。 文化財産化内等の返済の原本部利用について協議 現・日青谷書商工会館の利益用について、西南工を注應は、人利活用力法、民間 場・事業者やいのでは、と記憶は利益用できまか。、有効利用について検討・機業する。 地域生活過点した、日間は利益用を対応・有効利用について検討・機業する。 ・地域生活過点して、駅前に高級最終な利用について、青谷ようこそ館を含 かた、一帯の得末にかた金融機がなあり方を検討する。 青谷ようごと後の運搬力と地球特点品間発命の歌組を支援する中で、駅前広 場の利用にこぞりい側出に取組	_	C.来 3.状 	現 ・旧青谷町商工会館の利活用について、西商工会と連 維 した利活用方法、民間事業者やNPO等による団体利活 持 用を含めた、有効利用について検討・模索する。	・ 青谷上寺地連勝展示館の開館後の施設について、有効な 利活用力法について傾射を継続し、活用力法を決定する。 ・ 旧等お商工金館の利法用について、商商工会と連携し 大利活用力法、股票事業や40円のはよる団体制活用と 含かた。有効利用について報酬・機索する。 ・ 地域主活機会として、駅前に効果を対象性の数果的な利用について、 青谷ようこそ館を含めた、一帯の将来にわたる観読的なあ リカを検討する。	-	- c	未達 2.改 継ぎ	旧青谷と与地連部原示 開生、今和8年度まで 毎年度化、 日本の地域で大陸を開 事務分割が正今時本間 日本の地域で大陸を 日本の地域で大陸を 日本の地域で大陸 日本の地域で大陸 日本の地域で大陸 日本の地域で大陸 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	が必要。 今町商工会館につ	文化財課 都市企圖課 開政企圖課 青谷町総合支所	28